

元請工事管理表（記入例）

事業所名：

事業の名称	種類の番号	事業の所在地	事業の期間	請負金額の内訳（円／税抜き）			
				請負金額の額	請負金額に加算する額	請負金額から控除する額	請負金額
(1件が500万円未満の工事) ○○(株)倉庫新築工事 他10件	35	宇和島市丸之内〇一〇一〇	R5年4月1日から R6年3月31日まで	33,000,000			33,000,000
(1件が500万円未満の工事) × × ハイツ改装工事 他10件	38	宇和島市寄松甲〇一〇一〇	R5年4月1日から R6年3月31日まで	20,000,000			20,000,000
○○邸 新築工事	35	宇和島市中央町〇一〇一〇	R5年5月1日から R5年12月31日まで	150,000,000			150,000,000
○○邸 改装工事	38	宇和島市坂下津甲〇一〇	R5年6月10日から R5年8月31日まで	6,700,000			6,700,000
○○ボイラー新築工事	36	宇和島市津島町〇一〇一〇	R5年7月20日から R5年10月20日まで	10,000,000		3,000,000	7,000,000
○○道路改修工事	37	宇和島市三間町〇一〇一〇	R5年8月30日から R5年9月30日まで	4,500,000			4,500,000

・工事が完了したものを記載する。（期間や請負金額は確定した数字）

・事業の種類の番号を記載

「35：建築事業（新築／外での作業）」、「38：既設建築物設備工事業（室内作業）」

「36：機械装置の組み立て又は据付の事業（商品代金は控除可）」、「37：その他の建設事業」※分類が分からないものは空けておいてください。

・事業の種類（35や36など）が同じで1件が500万円未満の工事は、具体的に1件を記載し、他何件と表記することで省略できます。（工事金額は合計）

・工事代金と商品代金を分けて契約している場合は工事代金のみを記載してください。今年度から契約書の請負代金で記載をしてください。（別紙参照）

※加算する額は発注者などから工事用の資材等を支給されたり機械器具等を貸与された場合に、支給されたものの損料相当額を記載します。

※控除する額は「36：機械装置の組み立て又は据付の事業」において請負金額の額に「機械装置」の価格が含まれている場合のみその価格を記入します。

